

日本宗教学会

第64回学術大会

2005年9月9日(金)~11日(日)

関西大学

大阪府吹田市山手町3-3-35

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取り下さい。お帰りの際は、受付に名札をご返却下さい。
2. 受付には、学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、発表の2番前には、その部会の会場において下さい。また、申し込み時にOHP、スライド、パワーポイントの使用を申請された方は、発表する部会の始まる前に（午前の部会なら開始前に、午後の部会なら昼休みに）会場係にお申し出下さい。
4. 発表時に配布するレジюме・資料が足りなくなることがあります。余裕をもってご用意下さい。
5. 一般部会の発表は1人15分、質問時間は5分で、特別テーマ部会はそれぞれ18分と7分です。発表時間厳守をお願いいたします（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分、特別テーマ部会ではそれぞれ、16分、18分、25分）。
6. 研究発表のレジюме（表紙・本文）は、部会責任者にお渡し下さい。その際、本冊子15頁の表紙に必要事項を記入して、一緒にご提出下さい。なお、レジюмеは印刷原稿のほかに、電子データの提出をお願いしています。詳細は、14頁の「レジюмеの作成と提出の注意」をご覧ください。
7. 特別テーマ部会第1部パネルでの発表者、特別部会第2部の個人発表者のレジюмеは、一般部会の研究発表のレジюмеと同じです。14頁の「レジюмеの作成と提出の注意」に従って作成し、ご提出下さい。特別テーマ部会第1部パネルのコメントータは400字詰め原稿用紙4枚以内のまとめを、印刷原稿と電子データとともに、9月未までに、学会事務局へ送付して下さい。
8. その他の（自由テーマ）パネルの代表者は、パネリストのレジюмеをとりまとめて、大会最終日まで、部会責任者にご提出下さい。パネルでの発表者のレジюмеは一般部会の研究発表のレジюмеと同じ形式で、14頁の「レジюмеの作成と提出の注意」に従って作成して下さい。また、パネル代表者は「パネルの主旨とまとめ」（4枚以内）に、パネルの欧文タイトルを添えて、印刷原稿と電子データとともに、9月未日まで、学会事務局にご提出下さい。
9. 喫煙は、所定の場所以外ではご遠慮下さいますようお願いいたします。

受 付 第三学舎 1階正面入口
会員休憩室 9月9日 202教室
9月10日・11日 201教室・402教室
ク ロ ー ク 101教室
学会本部・大会実行委員会 第1会議室（118）

※ 弁当をお申し込みの方は休憩室（201教室）で
お受け取りになり、休憩室でお召し上がり下さい。

日 程

9月9日(金)

学会賞選考委員会	3401教室	11:30-13:00
各種委員会	各教室	13:00-14:30
開 会 式	ソシオ AV 大ホール	14:30-14:40
公開シンポジウム	ソシオ AV 大ホール	14:40-17:40
テーマ「韓国における宗教研究」		
基調講演 1	金 鍾瑞 (ソウル大学)	
コメンテータ	飯田 剛史 (富山大学)	
基調講演 2	丹羽 泉 (東京外国語大学)	
コメンテータ	沈 善瑛 (日本橋学館大学)	
司 会	神田 秀雄 (天理大学)	
理 事 会	第二会議室	18:00-20:30

9月10日(土)

研究発表	各教室	9:00-12:30
評議員会	511教室	12:30-14:00
編集委員会	3401教室	12:30-14:00
研究発表	各教室	14:00-16:00
会員総会	4302教室	16:20-17:40
懇 親 会	100周年記念会館	18:00-20:00

9月11日(日)

研究発表	各教室	9:00-12:30
IAHR 第19回世界大会実行委員会	511教室	12:30-14:00
研究発表	各教室	14:00-16:00
閉 会 式	各部会終了後部会ごとに	

1 部会 (4302 教室)

10日 (土) 9:00~12:30

パネル：オウム事件と宗教研究 (代表者：島田 裕巳、6名、140分)

宗教研究の方向性とその社会的役割—オウム事件後の課題—
他者理解の位置と暴力性
現代宗教研究のパラダイム—オウム事件の影響をめぐって—
〈宗教〉を問い直す—日本仏教の立場から—

島田 裕巳
島蘭 進 (東大)
伊藤 雅之 (愛知学院大)
末木文美士 (東大)
川村 邦光 (阪大)
関 一敏 (九大)

コメンテータ
司 会

1. 宗教学におけるエリアーデの位置
2. 宗教理論における国家の存在理由
3. 公的宗教・私的宗教の理念と現実

佐藤慎太郎 (東北大)
市川 裕 (東大)
井門富二夫 (筑波大)

10日 (土) 14:00~16:00

パネル：ファシズム期の宗教と宗教学—イタリア、ドイツ、日本における— (代表者：久保田 浩、5名、120分)

イタリア宗教史学の成立とそのコンテクスト
政治・宗教的文脈における「ドイツ宗教学」の展開
戦前日本における宗教学と民族学

江川 純一 (東大)
久保田 浩 (チュービンゲン大)
林 淳 (愛知学院大)
山中 弘 (筑波大)
宮嶋 俊一 (大正大)

コメンテータ
司 会

11日 (日) 9:00~12:30

パネル：宗教現象学の可能性 (代表者：華園 聰鷹、6名、140分)

歴史的構造論としての宗教現象学
宗教理解の地平—ルドルフ・オットーの宗教論を中心として—
宗教研究における自己理解と他者理解—現象学と解釈学の交差—
人間の学としての宗教研究を目指して

金井 新二 (東大)
澤井 義次 (天理大)
棚次 正和 (京都府立医大)
藺田 稔 (皇學館大)
華園 聰鷹 (放送大)
田丸 徳善 (東大)
華園 聰鷹 (放送大)

コメンテータ
コメンテータ
司 会

1. 現代における宗教の倫理的意義
2. 日本人の宗教性の特徴
3. 宗教学における「当事者性」

飯田 篤司 (鎌倉女子大)
加藤 智見 (東京工芸大)
土屋 博 (北海学園大)

11日 (日) 14:00~16:00

パネル：宗教的表象と近代 (代表者：林 淳、5名、120分)

宗教研究とヴィクトリア時代
デュルケーム学派と宗教
呪術史は可能か—フィリピンの事例から—

山中 弘 (筑波大)
竹沢尚一郎 (国立民族学博物館)
関 一敏 (九大)
田中 雅一 (京大)
林 淳 (愛知学院大)

コメンテータ
司 会

2 部会 (308 教室)

10日 (土) 9:00~12:30

パネル：記憶／忘却と公共性—内面性と集合心性のあいだで— (代表者：川口 茂雄、6名、140分)
 宗教と文化的記憶の問題—ヤン・アスマンの議論を手がかりにして—
 公共の記憶と追悼施設問題—東アジアの共生をめぐって—
 忘却と救いなき記憶—現代フランス宗教哲学からの—視角—
 記憶と事実と公共性

コメンテータ
 司 会

後藤 正英 (相愛大)
 稲垣 久和 (東京基督教大)
 佐藤 啓介 (大阪府立工高専)
 氣多 雅子 (京大)
 伊原木大祐 (パリ第10大)
 川口 茂雄 (京大)

1. IP.クリアーノの他世界 (other world) 探究について
2. 象徴論再考—意味とポテンシャルをめぐって—
3. 「土着宗教」についての—考察

佐々木 啓 (北大)
 長澤 壮平 (筑波大)
 村上 辰雄 (上智大)

10日 (土) 14:00~16:00

1. 近代以前の元素説
2. 問主体性の成立と宗教的契機
3. 宗教の脱制度化と個人化—D.エルヴェ＝レジェの理論—
4. 現代宗教社会学における教会志向型宗教性の問題
5. フランスのライシテ形成に対する実証主義の影響
6. 公共宗教と深層文化の回路

柄津 照信
 藤本 拓也 (東大)
 岡本 亮輔 (筑波大)
 諸岡 了介 (東北大)
 伊達 (手戸) 聖伸 (東大)
 津城 寛文 (筑波大)

11日 (日) 9:00~12:30

1. 日本の靈性からみたキリスト教と所謂東西対話への疑問
2. 「独立自尊」と宗教
3. 「ヒューマニズム」と宗教
4. 近代日本における宗教教育論の展開
5. 教育基本法改正に伴う宗教教育のあり方について
6. 教育基本法の宗教条項について
7. 大学における「宗教」の授業の実態—その宗教学的意義—
8. 沖縄における戦没者慰霊のポリティクス—公文書資料から—
9. 宗教化する政治／政治化する宗教—アメリカと日本—

工藤 亨
 浅野 章 (日大)
 庄司 一平 (東北大)
 高橋由記子 (淑徳大)
 十津 守宏 (鈴鹿国際大短大)
 菱木 政晴 (同朋大)
 藤原 聖子 (大正大)
 粟津 賢太 (創価大)
 中野 毅 (創価大)

11日 (日) 14:00~16:00

1. ウィリアム・ブレイクの複合芸術と「神のイメージ」
2. ジャン・ドリュモーにおける「恐れ」の概念
3. 宗教は心の問題に還元できるのか？—様相問題の視点から—
4. ジラールにおける供犠の意味について
5. Hホワイトハウスの儀礼研究
6. 修業と修行、儀礼・慣行における目的意識の問題について

江口 飛鳥 (東大)
 斎藤 喬 (東北大)
 松野 智章 (大正大)
 松田健三郎 (天理大)
 森下 三郎 (天理大)
 平野 孝國 (新潟大)

3 部会 (303 教室)

10日 (土) 9:00~12:30

1. 日本におけるカトリックカリスマ運動について
2. 子どもの本におけるプロテスタンティズムの教育理念
3. 神認識による〈自己〉の誕生—エックハルトの自己認識論—
4. 吉野作造における社会と宗教—宗教的真理の実現を巡って—
5. 南原繁と丸山眞男—「寛容」の視点から—
6. ローマ書 8:29 における「予知」の宗教的意味
7. キリスト教的実践の地域的受容—トバ・パタックの事例—
8. アトス山修道院における大齋の奉神礼について
9. アメリカ陸軍宗教サポートマニュアル
10. カンタベリーのアンセルムスとカンブレーのオドー

尾本 久美 (大正大)
大澤千恵子 (東大)
松沢 裕樹 (早大)
氏家 法雄 (立大)
村松 晋 (聖学院大)
野口 誠
木村 敏明 (東北大)
中西 裕一 (日大)
石川 明人 (北大)
山崎 裕子 (文教大)

10日 (土) 14:00~16:00

1. 宗教論としての弁証論—クザーヌスの所論をめぐって—
2. ユダヤ教とキリスト教—民族宗教から普遍主義宗教へ?—
3. スタンレー・サマルサの多元主義的「対話の神学」
4. 表現主義者としてのカール・バルト
5. Th.マンのルター批判—フマニスムスとロマンティーク—
6. ティリッヒとカント—近代キリスト教思想の文脈から—

島田 勝巳 (天理大)
上村 静
若林 裕 (同志社女子大)
深井 智朗 (聖学院大)
掛川 富康 (茨城キリスト教大)
芦名 定道 (京大)

11日 (日) 9:00~12:30

1. 異界と知—プラトンを手がかりに—
2. ニーチェにおけるディオニュソス理解
3. ノヴァーリスの『信仰と愛』における詩的表現と現実批判について
4. ミルの自由論とレヴィナスの神—その真理における一致—
5. 私と我々との始まり—H.アーレントの公共性概念の核心—
6. M.ブーバーの「我—汝」関係に宗教は必要であるか。
7. シモーヌ・ヴェイユにおける芸術と超越
8. アリストテレスと西谷啓治
9. 田辺哲学における親鸞思想理解—三願転入論を中心として—
10. 清沢満之における宗教と道徳

土井 裕人 (筑波大)
環 栄賢
田口 博子 (工学院大)
岩井 美好 (慶大)
今出 敏彦 (京大)
堀川 敏寛 (京大)
今村 純子 (慶大)
小野 真 (京大)
竹本 了悟 (龍大)
保呂 篤彦 (筑波大)

11日 (日) 14:00~16:00

1. 教員としての西田幾多郎を考える
2. 「純粹経験」と宗教について
3. 西田哲学における宗教論の可能性
4. 嘆きと迷いの宗教学的意味
5. 善と悲哀—西田哲学の感情論の分析—
6. 「生む無」と「生(む)す無」

岡村真由美
藤城 優子 (日大)
加島 史健 (大阪明星学園)
芦名 裕子 (聖学院大)
水野 友晴 (京大)
松山 康國 (関西学院大)

4 部会 (202 教室)

10日 (土) 9:00~12:30

パネル：近代日本における神道と仏教—「国家神道」再考— (代表者：藤田 大誠、6名、140分)
 祭政一致論と「国家神道」に関する一考察 藤田 大誠 (國學院大)
 明治末期における神社整理の基準と反響 藤本 頼生 (神社本庁教学研究所)
 大正・昭和期の神道学における神道理解 松本 久史 (國學院大)
 明治末期から昭和前期における「国体と仏教」をめぐる一考察 大谷 栄一 (南山宗教文化研究所)
 コメンテータ 遠藤 潤 (國學院大)
 司 会 櫻井 治男 (皇學館大)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 中江藤樹と神道思想 | 鈴木 保實 (愛知県立旭陵高) |
| 2. 『小泉文六郎覚書』の内容について | 大谷 正幸 (総研大) |
| 3. 祈願をめぐる研究教育とその効果 | 黒崎 浩行 (國學院大) |

10日 (土) 14:00~16:00

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 大江匡房の願文と転輪聖王 | 稲城 正己 (京都文教大) |
| 2. 近代日本における普遍主義と個別主義—明治宗教思潮の一断面— | 山口 亜紀 (南山大) |
| 3. 婦人雑誌と新渡戸稲造 | 森上 優子 (お茶の水女子大) |
| 4. 近代曹洞宗における尼僧史の意味 | 熊本 英人 (駒大) |
| 5. 宗教指導者の配偶者に関する考察—役割葛藤を中心に— | 川又 俊則 (鈴鹿国際大短大) |
| 6. <落差>を解く—豊前神楽を例として— | 白川 琢磨 (福岡大) |

11日 (日) 9:00~12:30

パネル：近世における神道家の思想と実践 (代表者：幡鎌 一弘、6名、140分)
 神祇伯白川家の台頭と学頭白井雅胤 井上 智勝 (大阪歴史博物館)
 垂加派神道者の蔵書形成と門人 幡鎌 一弘 (天理大)
 神道講釈師玉田永教の庶民教化と神祇管領長上吉田家 引野 亨輔 (福山大)
 平田派国学者と神葬祭運動 遠藤 潤 (國學院大)
 コメンテータ 松本 久史 (國學院大)
 司 会 西岡 和彦 (國學院大)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 熊野本宮備前遺跡群の検討 | 山本 義孝 |
| 2. レオン・ド・ロニの神話研究 | 平藤喜久子 (國學院大) |
| 3. 異界の表象と宗教学 | 松村 一男 (和光大) |

11日 (日) 14:00~16:00

パネル：前近代神祇信仰の諸形態 (代表者：白山芳太郎、5名、120分)
 神祇信仰としての伊勢神道 白山芳太郎 (皇學館大)
 中世吉田家の神祇服紀令 出村 大法 (皇學館大)
 宗門改時代における神道宗門 田中 裕人
 コメンテータ 出村 龍日
 司 会 河野 訓 (皇學館大)

5 部会 (305 教室)

10日 (土) 9:00~12:30

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1. 『阿毘曇心論』業品における身口意の曲・過・濁について | 智谷 公和 (相愛大) |
| 2. petalokaの語義をめぐる問題 | 阿 理生 (九大) |
| 3. 竺法護の訳語と宝雲・ブダバドラの訳語 | 後藤 義乗 |
| 4. マハーヴァストウのブッダ観再考 | 新田 智通 (武蔵野大) |
| 5. 『中論』における縁起のアポリアについて | 青木 久美 (沖縄工業高専) |
| 6. パンニャーサジャータカ研究の課題 | 茨田 通俊 (東方研究会) |
| 7. 『釈軌論』の仏身論—変化身としてのブッダー | 堀内 俊郎 (東大) |
| 8. 不二一元論学派の宇宙論 | 佐竹 正行 (東洋大) |
| 9. 『法頭伝』等の記録にみられる仏教の勢力分布について | 竹内 正祥 (立正大) |
| 10. ボーディバドラとアティシャ | 望月 海慧 (身延山大) |

10日 (土) 14:00~16:00

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 真興の真如・仏性説—密教受容と一乗化をめぐる— | 船田 淳一 (佛教大) |
| 2. 『道行般若経』における本無について | 野田 悟史 (立正大) |
| 3. 再び『金光明経疏』の撰者を論ず | 林 鳴宇 (駒大) |
| 4. 『伝光録』引用典籍の研究—中国禅宗文献との対比— | 宮地 清彦 (曹洞宗総合研究センター) |
| 5. 中国初期禅宗と禅宗日本初伝の道昭について | 渡部 正英 (駒大) |
| 6. 法蔵の『密厳経』理解について | 織田 顕祐 (大谷大) |

11日 (日) 9:00~12:30

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 中世日蓮教団の御影にみる祖師信仰—波木井の御影を視点として— | 堀部 孝二 (立正大) |
| 2. 日蓮における仏教観の研究—『一代五時図』を中心に— | 森 清顕 (立正大) |
| 3. 日蓮宗高座説教「繰り弁」における用語の妙 | 中條 暁秀 (立正大) |
| 4. 日蓮聖人『注法華経』と要文との関連性 | 関戸 堯海 (立正大) |
| 5. 編年体御書目録に関する一考察 | 木村 中一 (立正大) |
| 6. 法華経における人格神と「ダルマの世界」について | 大久保雅行 (久留米大) |
| 7. 「事円」をめぐる問題再考 | 布施 義高 (法華宗(陣門流)学林) |
| 8. 深草元政にみる戒律受容の一側面 | 片桐 海光 (立正大) |
| 9. 日蓮研究に関する方法論的試論—「こころみ」の宗教— | 間宮 啓壬 (身延山大) |
| 10. 中世日蓮宗における談義と聖教 | 寺尾 英智 (身延山大) |

11日 (日) 14:00~16:00

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1. 近代禅僧の死後観について | 粟谷 良道 (曹洞宗総合研究センター) |
| 2. 祖師遺物信仰の成立と展開—源空の場合— | 青木 淳 (高知女子大) |
| 3. 日本仏教と社会福祉—近代化とグローバル化における展開— | ランジャナ・ムコパディヤーヤ (名古屋市大) |
| 4. 中世日本における禅宗の請来と宋代風水の受容 | 鈴木 一馨 (東方研究会) |
| 5. 朝鮮仏教の妻帯問題—『朝鮮仏教維新論』を中心として— | 福士 慈稔 (身延山大) |

6 部会 (306 教室)

10日 (土) 9:00~12:30

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 曇鸞の五念門釈について | 石川 琢道 (大正大) |
| 2. 聖光『浄土宗要集』における浄影寺慧遠について | 郡嶋 昭示 (大正大) |
| 3. 法然上人二十五霊場のミニチュア霊場 | 山本 博子 (佛教大) |
| 4. 法然における罪の自覚 | 中尾 連三 (南山大) |
| 5. 法然における「五番相對」と「六番相對」について | 那須 一雄 |
| 6. 「登山状」の形成に関する一考察—雄俊伝を中心に— | 龍口 恭子 (東方学院) |
| 7. 善導『観経疏』における韋提希論 | 柴田 泰山 (浄土宗総合研究所) |
| 8. 仏教福祉の実践に関する一考察 | 藤 憲之 (龍大) |
| 9. 星野元豊氏所説「賭」についての一考察 | 牧野 仁 (龍大) |
| 10. 仏身仏土の緒論—道緯における浄土の展開— | 桑原 恒久 (大正大) |

10日 (土) 14:00~16:00

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 近代ドイツの仏教解釈—Hハースの位置をめぐって— | 春近 敬 (大正大) |
| 2. 清沢満之と「自己」の問題 | 日野 圭悟 (大谷大) |
| 3. 清沢満之の教育観—真宗大学を中心に— | 高山 秀嗣 (武蔵野大) |
| 4. 鈴木大拙と浄土思想 | 和田 真二 (帝塚山学院大) |
| 5. 柳宗悦の仏教研究—『南無阿弥陀仏』を中心に— | 李 勝鉉 (東大) |
| 6. 八斎戒とその功德 | 龍口 明生 (龍大) |

11日 (日) 9:00~12:30

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 『歎異抄』第五条の考察—特に「有縁」の語について— | 松尾 得晃 (本願寺教学伝道研究センター) |
| 2. 親鸞浄土教における「不可思議」の概念—宗教言語的特徴— | 日野 慶之 (龍大) |
| 3. 真宗伝道に関する一考察—文化的自己観による実証的研究— | 長岡 岳澄 (本願寺教学伝道研究センター) |
| 4. 真俗二諦論の今後 | 西 義人 (本願寺教学伝道研究センター) |
| 5. 江戸期における悪人正機の問題について | 原田 哲了 (龍大) |
| 6. 『教行信証』「化巻」(末)における『大集経』の引用について | 山本 浩信 (本願寺教学伝道研究センター) |
| 7. 誓願—仏乗開頭の意義について | 藤元 雅文 (大谷大) |
| 8. 蓮如教学における信疑決判と信疑の得失について | 眞城 信 (龍大) |
| 9. 真宗学における現代的問題へのアプローチ—方法論を中心に— | 打本 未来 (龍大) |
| 10. 真宗伝道における念仏者の可能性 | 葛野 洋明 (龍大) |

11日 (日) 14:00~16:00

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 親鸞における言語観 | 赤渕 弘祐 (龍大) |
| 2. 真宗助正論の研究 | 岡崎 秀麿 (龍大) |
| 3. 初期真宗教団の「師」と「善知識」 | 黒田 義道 (龍大) |
| 4. 『唯信鈔文意』と一念・多念の問題について | 稲田 英真 (本願寺教学伝道研究センター) |
| 5. 教団と行信論—宗政運営と教学理解— | 本多 静芳 (武蔵野大) |
| 6. 他知の世界—浄土真宗の信心— | 紅樺 英頭 (相愛女子短大) |

7 部会 (301教室)

10日 (土) 9:00~12:30

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 「宗教」のポスト社会主義 | 滝澤 克彦 (東北大) |
| 2. 教義と釈義の形式論理によるモデリング | 渡辺 光一 (関東学院大) |
| 3. 近世イングランドにおける悪魔と幻覚の関係について | 黒川 正剛 (太成学院大) |
| 4. ブラジル北東部のメシアニズム的伝統 | 荒井 芳廣 (大妻女子大) |

パネル：日本におけるキリスト教の受容と理解—キリシタンの場合—	(代表者：東馬場郁生、5名、120分)
キリシタン信仰に見る民衆の宗教受容	狹間 芳樹 (京都光華女子大)
キリシタン通史の構築に向けて	東馬場郁生 (天理教校研究所)
浦上四番崩れにおける宣教師の論理と信徒の信仰構造	中村 博武 (プール学院大短大)
キリスト教の文化内開花—今を生きるキリシタンに学ぶ—	長谷川 (間瀬) 恵美 (南山宗教文化研究所)
コメンテータ	宮崎賢太郎 (長崎純心大)
司 会	東馬場郁生 (天理教校研究所)

10日 (土) 14:00~16:00

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. ヴィヴェーカーナンダのヨーガ—実践における役割— | 平野久仁子 (上智大) |
| 2. 初期ジャイナ教における生物観 | 杉岡 信行 (東方研究会) |
| 3. ジャイナ教白衣派における手鉢 (pāpi-pātra) | 渡辺 研二 (淑徳短大) |
| 4. ベンガルの聖者信仰におけるヒンドゥー・ムスリム関係 | 外川 昌彦 (広島大) |
| 5. 18世紀末インド論における「野蛮」と「偏見」 | 富澤 かな (宗教情報リサーチセンター) |
| 6. 信仰の証としての暴力—シンガポールのタイ・プーサム祭— | 田中 雅一 (京大) |

11日 (日) 9:00~12:30

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 戦国時代の村の王孫思想 | 永井 隆之 (日本学術振興会) |
| 2. 漁民と祈祷礼—善宝寺信仰を手がかりに— | 阿部 友紀 (東北大) |
| 3. 北方民族のシャーマニズム—サーミ・イヌイットなど— | 中里 巧 (東洋大) |
| 4. 浅野和三郎研究 | 長崎 誠人 |
| 5. 大本の教義上の一特色—その歴史的認識に付て— | 出口 榮二 (東筑紫学園) |
| 6. 子供の信仰受容と発達—天理教の場合をもとに— | 山中 修吾 (天理大) |
| 7. 聖典とその受容—天理教のみかぐらうたをめぐって— | 堀内みどり (天理大) |
| 8. 統一教会信者における入信・回心・脱会の諸特徴 | 櫻井 義秀 (北大) |
| 9. 福音と地域文化—ヒンドゥー社会におけるキリスト教の事例— | 岡光 信子 (東北大) |
| 10. 多文化共生—群馬県大泉町を中心に— | 野村 誠 (共愛学園前橋国際大) |

11日 (日) 14:00~16:00

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. ジャマイカのチャイニーズ・チャーチ—展開と実践の諸相— | 柴田 佳子 (神戸大) |
| 2. 結縁—越境するネットワーク— | 岡田真美子 (兵庫県立大) |
| 3. 大学教育におけるブログの活用—「生きる力」を考え育む— | 弓山 達也 (大正大) |
| 4. 古代エジプトのアメン神に関する—考察 | 深谷 雅嗣 (筑波大) |
| 5. サーサーン王朝期ゾロアスター教の神官聖火 | 青木 健 (日本学術振興会) |
| 6. ト占と社会批判—古代メソポタミアの事例から— | 月本 昭男 (立大) |

8 部会 (403 教室)

10日 (土) 9:00~12:30

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1. 近代における仏教とはなんだったのか—矢吹慶輝を通して— | 江島 尚俊 (大正大) |
| 2. ユタをめぐる新状況—多様化する依頼者・多様化する対応— | 石附 馨 (阪大) |
| 3. 宗教政策としての文化財保護法 | 山口 正博 (國學院大) |
| 4. 自動車祈祷の発生と展開 | 中村 憲司 (大正大) |

パネル：沖縄における死者慣行の変容と仏教寺院の進出 (代表者：鷺見 定信、5名、120分)	
沖縄における死者慣行の変容と「本土化」	鷺見 定信 (大正大)
沖縄の人口動態と寺院の展開—浄土宗寺院を中心に—	武田 道生 (大正大)
沖縄における仏教寺院の布教展開—その独自性を中心として—	名和 清隆 (浄土宗総合研究所)
コメンテータ	菅原 壽清 (駒大)
コメンテータ	小熊 誠 (沖縄国際大)
司会	鷺見 定信 (大正大)

10日 (土) 14:00~16:00

パネル：死者の祭祀と供養—集団性と個人性の葛藤と共存— (代表者：池上 良正、5名、120分)	
研究視座としての死者の「祭祀」と「供養」	池上 良正 (駒大)
死者祭祀・供養の都市化・近代化における集団性と個人性	村上 興匡 (東大)
死者に対する慰撫と顕彰—葬送儀礼と表象のあり方を通して—	山田 慎也 (国立歴史民俗博物館)
摩文仁の丘にみる戦死者への関わり	鈴木 岩弓 (東北大)
コメンテータ	中村 生雄 (学習院大)
司会	池上 良正 (駒大)

11日 (日) 9:00~12:30

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 戦前日本の調査機関と宗教人類学 | 大澤 広嗣 (大正大) |
| 2. 「行者」と依頼者・信者—米沢市の事例をもとに— | 徳野 崇行 (駒大) |
| 3. 青森県南部地方の事例にみる村内行事と政治 | デール・アンドリュース (東北大) |

パネル：憑依の近代とポリティクス (代表者：川村 邦光、6名、140分)	
近代日本における憑依の系譜とポリティクス	川村 邦光 (阪大)
天理教における「おさしづ」と本席体制	永岡 崇 (阪大)
憑依が精神病にされるとき—人格変換・宗教弾圧・精神鑑定—	兵頭 晶子 (阪大)
巫者の政治学—沖縄戦後60年と戦死者霊の感受—	佐藤 壮広 (大正大)
憑依を肯定する社会—沖縄の精神医療史とシャーマニズム—	塩月 亮子 (日本橋学館大)
コメンテータ	畑中小百合 (阪大)
司会	塩月 亮子 (日本橋学館大)

11日 (日) 14:00~16:00

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1. 内山愚童論序説—攘斥と顕彰のあいだ— | 工藤 英勝 |
| 2. 近代日本のユートピア思想—井上円了『星界想遊記』を読む | 岡田 正彦 (天理大) |
| 3. 岩崎御嶽山霊神場に見る御嶽講の現在 | 小林奈央子 (名大) |
| 4. 戸隠・妙高・小菅山の柱松における神仏関係 | 由谷 裕哉 (小松短大) |
| 5. 七面山「うつし霊場」について | 望月 真澄 (身延山大) |
| 6. 諸国定着の熊野比丘尼 | 根井 浄 (龍大) |

9 部会 (406 教室)

10日(土) 9:00~12:30

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 修羅のモノグルヒーあの世とこの世をつなぐもの— | 永原 順子 (国際日本文化研究センター) |
| 2. <守護>無き成巫—心理療法士養成を伝統的祈祷者錬成に比して— | 戸田 游晏 |
| 3. 宗教伝統に見られる自殺と自殺補助に関する見解 | 金 永晃 (大正大) |
| 4. 二つの生命—生死観四態より— | 中村みどり |
| 5. 臨終における情報の実体 | 神居 文彰 (佛教大) |
| 6. 心身療法から捉えた盤珪の不生の仏心について | 新保 哲 (文化女子大) |
| 7. 遺伝情報と倫理と信仰 | 土田 友章 (早大) |
| 8. スピリチュアリティの概念構造について | 坂井 祐円 (南山宗教文化研究所) |
| 9. 宗教と経営—スピリチュアリティの視点から— | 樫尾 直樹 (慶大) |

10日(土) 14:00~16:00

- | | |
|---|----------------|
| パネル：生と経験と the “more” —ウィリアム・ジェイムズの思想と宗教性— (代表者：吉永 進一、5名、120分) | |
| 「私」 枠と存在の「神秘」—経験への回帰によるその「解決」— | 冲永 宜司 (帝京大) |
| 経験のマトリクス—生の流れ、純粹経験、潜在意識、宗教経験— | 筒井 史緒 (関西外大) |
| 際限なき世界、溶けゆく「神」—ジェイムズ宗教論の一つの帰結— | 堀 雅彦 (札幌学院大) |
| コメンテータ | 堀江 宗正 (聖心女子大) |
| 司 会 | 吉永 進一 (舞鶴工業高専) |

11日(日) 9:00~12:30

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 明治時代の宗教と新聞 | 小川 有閑 (東北大) |
| 2. 近代日本における宗教とメディア | 榎本 香織 (東大) |
| 3. テレビにおける宗教関連番組の現状と問題点 | 石井 研士 (國學院大) |
| 4. 宗教学的回心研究の試み—回心と集団— | 徳田 幸雄 (東北大) |
| 5. C.G.ユングにおける帰納法の問題 | 杉岡 正敏 (京大) |
| 6. 批判的心理学と心理学的代替宗教論 | 堀江 宗正 (聖心女子大) |
| 7. 伝統宗教の都市部における今後の布教の方向性 | 荻野 勝行 (大谷女子大) |
| 8. 現代の<宗教テロ>と<宗教の機能> | 高橋 渉 (宮城学院女子大) |

11日(日) 14:00~16:00

- | | |
|--|------------------|
| パネル：問題のわかちあいから生み出されるもの—小集団の宗教性の研究— (代表者：葛西 賢太、5名、120分) | |
| 「出会い」の両義性—小集団の宗教性— | 葛西 賢太 (宗教情報センター) |
| 語ること／聞くこと—AAにおける「癒し」の形— | 脇坂 真弥 (東京理科大) |
| 12ステップ・自助グループにおけるスピリチュアリティをめぐって | 小池 靖 (日大) |
| コメンテータ | 村田 充八 (阪南大) |
| 司 会 | 宇都宮輝夫 (北大) |

10 部会 (4401 教室)

10日 (土) 9:00~12:30

1. 日本書紀の宗教学的意味

西谷 幸介 (東北学院大)

特別テーマ部会<東アジアにおける宗教の位置>第1部:特別テーマパネル

中国における「原始宗教」の輪郭—徳宏タイ族の事例から—	長谷千代子 (日本学術振興会)
東アジアにおける「道」概念の可能性—宗教間対話論への応用—	濱田 陽 (帝京大短大)
Deus・天主・でうす・ハヌム—東アジアのキリスト教受容—	高坂 史朗 (大阪市大)
日本の寺院における中国道教神の信仰	二階堂善弘 (関大)
死者の救済における宗教の機能—六朝期の造像銘を中心に—	池澤 優 (東大)
コメンテータ	鈴木 正崇 (慶大)
司 会	前田 繁樹 (皇學館大)

10日 (土) 14:00~16:00

パネル:<民衆宗教>再考—概念・歴史・現在— (代表者:福嶋 信吉、5名、120分)

日韓新宗教における弥勒思想の比較研究	朴 奎泰 (漢陽大)
日韓の民衆宗教交流史研究の現況と課題	李 元範 (東西大)
民衆宗教運動の再発見—賤民史研究との接続—	渡辺 順一
コメンテータ	葛西 賢太 (宗教情報センター)
司 会	福嶋 信吉 (昭和大)

11日 (日) 9:00~12:30

特別テーマ部会<東アジアにおける宗教の位置>第2部:個人発表

韓国の生殖技術とヒト胚研究—東アジアの宗教と生命倫理への試論—	澁上 恭子
韓国の「民族性」とされる「恨」のイメージ	古田 富建 (東大)
台湾先住民タロコ族の民族認定要求運動とキリスト教	原 英子 (岩手県立大)
日本における神道と中国における儒教の位置	池田 昭

1. 陰陽道・大雑書・三世相—近世陰陽道書成立の前提—
2. 祭祀演劇と民間信仰—中国江南の事例から—
3. 朝鮮仏教大会 (1929年) と日本の仏教者
4. 鍾馗再論

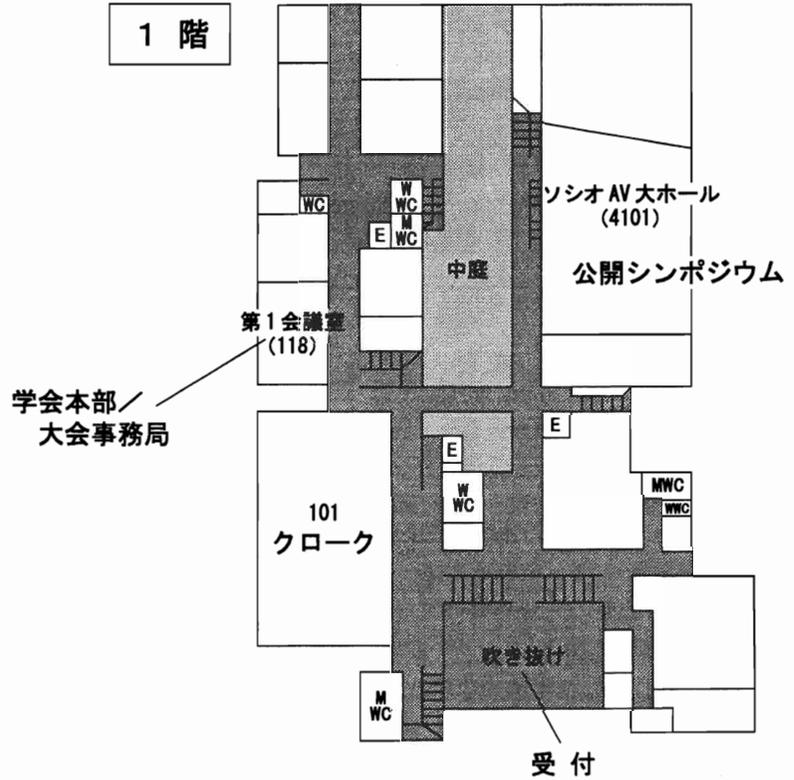
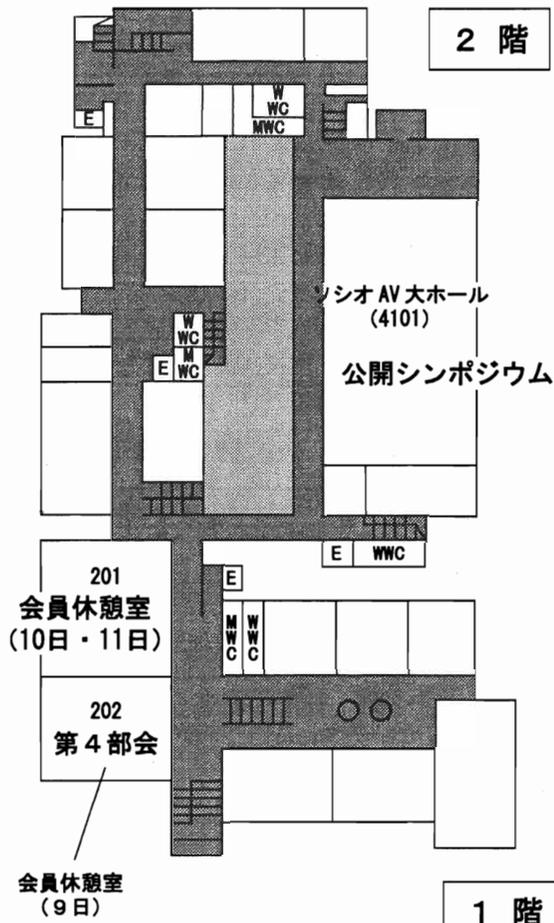
小池 淳一 (国立歴史民俗博物館)
廣田 律子 (神奈川大)
辻村志のぶ (日本学術振興会)
窪 徳忠 (東大)

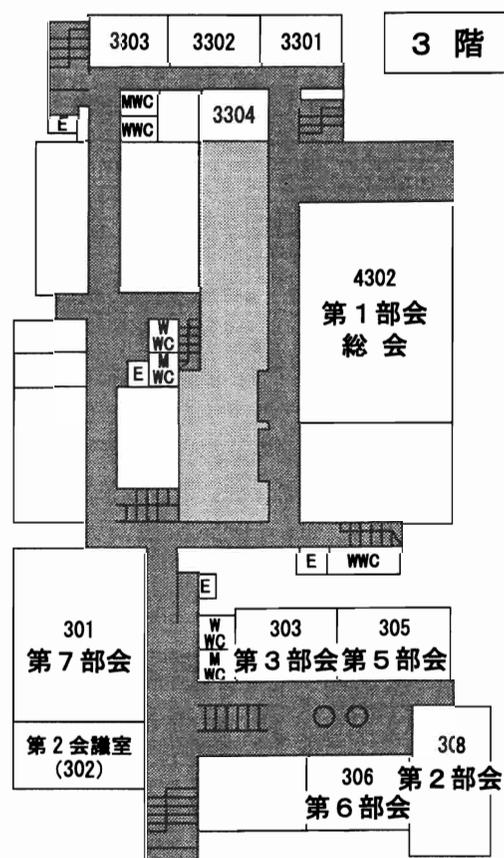
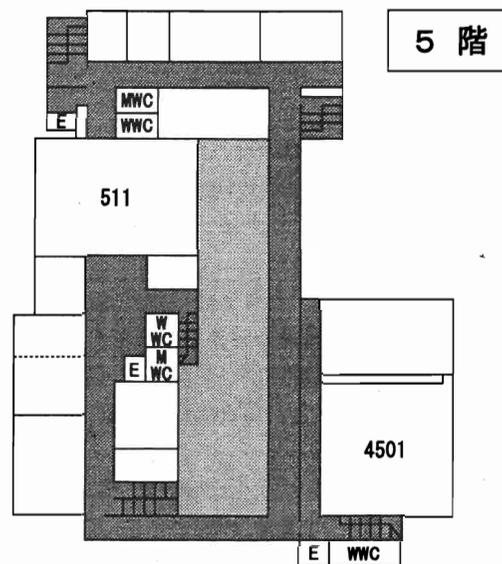
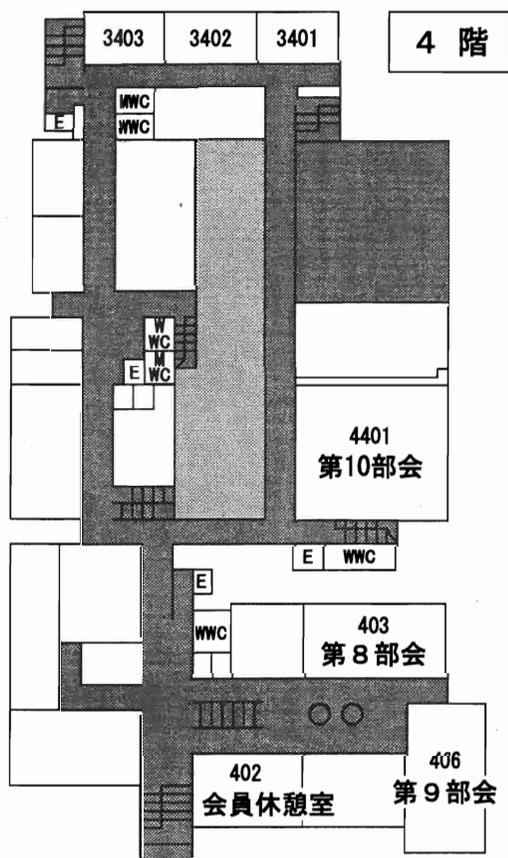
11日 (日) 14:00~16:00

1. 上代仏教と陰陽五行思想
2. 道教の氣の理論と「呪術」について
3. 仙神と弟子—扶乩と中華民国の政治家—
4. 中国満州族における火の信仰とシャーマニズム
5. 儒教再考—儒教の宗教性をめぐって—
6. 華人系祭祀の変容—プーケットの「菜食の祭」をめぐって—

多田 伊織 (奈良文化財研究所)
鈴木 健郎 (専修大)
宮田 義矢 (東大)
楊 紅 (名大)
林 孟蓉 (愛知学院大)
山下 博司 (東北大)

研究発表会場（第3学舎）





レジュメの作成と提出の注意

『宗教研究』への掲載は、大会最終日までに、「レジュメの紙原稿と表紙」を提出された方に限ります。

レジュメは、15頁の表紙・本文の順にホチキスでとめ、フロッピーディスク（FD）を提出される方はFDを添えて、部会責任者にお渡し下さい。

締切：大会最終日（9月11日）各部会終了時 以後の提出、訂正は一切受け付けません。

枚数：400字詰縦書き原稿用紙4枚以内。

パソコン、ワープロ原稿（縦書き）は、1行40字×40行以内。総文字数ではありません。
枚数を超過した場合は掲載できないこともあります。ご注意ください。

【パソコン、ワープロ原稿は、以下の書式をお守り下さい】

用紙：A4横置き。 設定：縦書き。1行40字×40行。

- ・1頁目——発表題目、発表者名、欧文タイトル、発表者のローマ字表記、を記入（入力）して下さい。
- ・2頁目——本文

題目：副題の始めと終わりのダッシュ（—）を含めて、30字以内。

欧文単語とスペースは2文字を1字と数えます。

カタカナの人名に付記されたイニシャルと中黒、および邦文中の数字は、漢数字扱いで数えます。

本文：縦書き。邦文の数字は漢数字をお使い下さい。『宗教研究』は縦組みです。

常用漢字、現代仮名づかいを用いて下さい。

図表等は掲載できませんので、添付しないで下さい。

なるべく、パソコン、ワープロでプリントアウトした原稿をご提出下さい。

手書きは、原稿用紙一マスに1字（欧文は一マスに2字）、欧文のイタリックは下線で指示して下さい。

欧文タイトル：英語——邦文題目と照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

英語以外の言語——発表者が提出したタイトル通りに掲載します。

【パソコン、ワープロをご使用の方へ レジュメの電子データ提出のお願い】

印刷作業の簡素化のため、レジュメの電子データの提出に、ご協力下さい。

ただし、この場合も必ず大会最終日までに、所定の表紙を付して、紙の形でレジュメをご提出下さい。

メールによる電子データの送信のみでは掲載不可です。

なお、レジュメと電子データの内容が異なる場合は、レジュメ通りに印刷します。

①レジュメと一緒にFDを提出される場合は、FDのラベルに、氏名と「パソコンはOS名・ソフト名（例：Windows・ワード）／ワープロ専用機は機種名」を明記して下さい。FDは校正刷りと一緒に返却します。

②Eメールで電子データを送信する場合は、9月16日（金）までに、Windowsのワード・一太郎の場合は添付ファイルで、そうでない場合はメールに貼り付けて、お送り下さい。

送信先：日本宗教学会事務局 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp

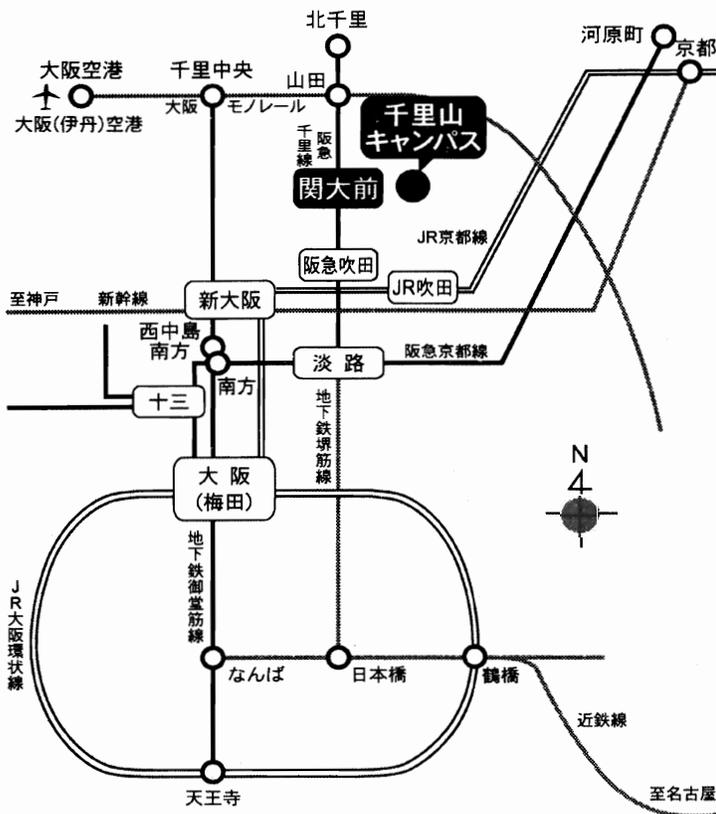
『宗教研究』編集委員会

レジユメの表紙 (すべての項目に記入して下さい。)

発表題目 (縦書き。副題の始めと終わりのダークを省略し、三〇字以内。)
発表者名 (縦書き)
欧文タイトル (活字体。イタリックは下線で指示して下さい。)
発表者名のローマ字表記 (姓・名の順。例：関大花子 → KANDAI Hanako)
電子データの提出： 1 有 2 無 (どちらかの番号を○で囲んで下さい。) 提出される方は、データの種類、1か2に○を付けて下さい。 種類：1 フロッピーディスク (会場で手渡し) 2 Eメール

レジユメの表紙は、学会ホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jars/>) からダウンロードできます。
特殊文字は、プリントアウトしたものに、赤字を入れて下さい。

関西大学千里山キャンパスへのアクセス情報



- 大阪/梅田からのアクセス
阪急梅田駅から千里線北千里行で関大前駅下車(この間約20分)。または京都線河原町行の快速急行・急行・普通で淡路駅下車、北千里行に乗り換え関大前駅下車。
 - 京都(河原町)からのアクセス
阪急快速急行もしくは急行梅田行で淡路駅下車、北千里行に乗り換え関大前駅下車。
 - 大阪市営地下鉄からのアクセス
地下鉄堺筋線が阪急の淡路駅を経て阪急千里線に乗り入れています。
 - JR新大阪駅からのアクセス
地下鉄御堂筋線なかもず行で西中島南方駅下車、阪急南方駅から淡路駅を経て関大前駅下車(この間約30分)。もしくはJR京都方面行普通で吹田駅下車(この間約4分)。北口からタクシーで約10分(900円ほど)。
 - 大阪(伊丹)空港からのアクセス
大阪モノレール門真市行で山田駅下車、阪急千里線(淡路方面行)に乗り換え関大前駅下車(この間約30分)。
- ※ JR吹田と阪急吹田の間は600mほど離れています(徒歩約7分)。
※ 阪急関大前駅からキャンパスまでは徒歩約5分です。



会場の第3学舎へは関大前駅の北口・南口いずれからも行けます。南口からの方が若干近いですが、勾配は急になります。